

第6回外国人による講演会  
「コミュニケーションについて」  
(2012年7月7日)

7月7日(土)安芸郡府中高校の外国語指導者であるエリン・フレイジャーさんに来て頂きました。彼女はアメリカのワシントン州スポケーン出身ですが神戸女学院で働いた後、2010年から府中町に住んでいます。

テーマは、前半は彼女の家族、生き立ち、ホームタウンの紹介、後半は大学で専攻したコミュニケーションについてでした。



日本についてはアニメをはじめとして強い興味を持っていたようですが、広島に来る前に神戸女学院で働いていた経験があります。ワシントン州のシアトルで和太鼓も既に習得していたようです。今でも府中町のかっぱ連ひびき会のメンバーで毎週練習に励んでいます。



講演終了後、来ていたメンバーから花束の贈呈がありました。

とても活発な女性で趣味はスポーツ、特にマラソンには熱心であちこちのマラソンレースに参加しているようです。話し方も上手で人を引き付けるものがありました。

紹介してくれたシアトルの名所の一つはパイク・プレイス・マーケットでそこでは魚が宙を飛ぶとかスタバ1号店があるとかの話がありました。

コミュニケーションについてはやや難しい話となりましたが、コミュニケーションは言葉によるのは、7%に過ぎないとの話には少々驚きました。日米で意図を伝えるジェスチャーの差には興味深いものがあり、文化の違いによる誤解について知りました。

今回初めての英語による講演でした。予めプロジェクターに和訳を入れたり、話のポイントを通訳したりする事で参加者の理解は十分だったようです。英語に興味のある方も多いので参加者を集める一つの魅力になりそうです。

ともあれこの会の参加者は今までの中では最高でした。

